



ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム

通信

No. 5
2021年1-2月号



拝啓

緊急事態宣言が1月8日に発令され、2021年の幕開けも厳しい状況が続いていますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

年も明け、世田谷パブリックシアターでは、「地域の物語」ワークショップ（以下、WS）が始まりました。「地域の物語」は、例年は、介助、介護、家族など、現代社会が抱える課題をテーマにし、関心を持って集まって下さった方たちと進めています。今年は、初めての取組として、劇場がある三軒茶屋駅から徒歩15分程度の、都営下馬団地を中心とした下馬地区に焦点をあてることになりました。現在、下馬の地に暮らし、さまざまな風景を眺めてきた方たちの話を伺いながら、「子どもチーム（『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』）」と「大人チーム（『生きること、死ぬことをめぐる冒険』）」にわかれて舞台づくりをすすめています。

「子どもチーム」は、下馬にお住まいの脳性麻痺の車椅子ライダー実方裕二さんから「生と死の狭間にあった生い立ちの話」「15人の介助者がいる話」「仕事」「恋愛」などのお話を聞くことから始めました。障害を持ちながら世田谷区に暮らしてきた実方裕二さんの人生航路に耳を傾けつつ、子ども達自身でゆうじさんの物語を紡ぎあげています。

「大人チーム」は、アーティストたちが下馬地区にお住まいの高齢者計7名にインタビューを重ねています。これまで生きてこられた人生の先にある死、そして死を考える前にある生へと思いを巡らせ、集まった方たちみんなで「生きること、死ぬこと」を考える場をつくりたいと色々と試みています。

3月21日（日）14時の「地域の物語」、是非足をお運びください。

敬具

世田谷パブリックシアター 学芸事業の今後の予定（3月）

2月28日時点

3月

- 1日（月） かなりゴキゲンなWS 巡回団@烏山小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 2日（火） かなりゴキゲンなWS 巡回団@九品仏小学校1、2年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 3日（水） 下馬地区アートプロジェクト『だれでも表現クラブ・極楽』（高齢者の居場所づくり：月1回）
- 6日（土） 弦巻小学校PTA 新1年生プログラム（新1年生フォローのためのPTA発案企画の支援）
- 7日（日） 小学生のためのえんげきWS『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：6/8回目）
- 11日（木）『生きること、死ぬことをめぐる冒険 in 下馬』中間発表（地域の物語プログラム：随時）
- 13日（土） 小学生のためのえんげきWS『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：7/8回目）
- 14日（日） 小学生のためのえんげきWS『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：8/8回目）
- 21日（日） 地域の物語2021 演劇発表会（地域の物語プログラム：随時）
下馬地区の高齢者のかたたちと『生きること、死ぬことをめぐる冒険』／子どもたちの『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』
- 25日（木）『デイ・イン・ザ・シアター ～私の水曜日編～』①／②（劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS）
下馬地区アートプロジェクト『だれでも写真クラブ・極楽』（高齢者の居場所づくり：月1回）
- 26日（金） 演劇WSラボ「ディスタンスクラブ オンライン班」（演劇WS専門家育成）
- 27日（土）『ごちゃまぜ演劇WS2021』①（小学生から22歳まで2日間の演劇WS）
- 28日（日）『ごちゃまぜ演劇WS2021』②（小学生から22歳まで2日間の演劇WS）
- 29日（月） 演劇WSラボ「ディスタンスクラブ オンライン班」（演劇WS専門家育成）

【取材・企画に関するお問合せ】

世田谷パブリックシアター 学芸：恵志 九谷 塩原 石川
TEL 03-5432-1526 FAX 03-5432-1559

2021年1～2月 学芸事業一覧

※WS=ワークショップの略

劇場 劇場内で実施するWS

地域連携 区内施設、NPO 他と協力して実施するWS

その他 一般の方に向けたレクチャーや人材育成の取り組み

1月

11日(月・祝)
○
デイ・イン・ザ・シアター (通称:デイ)
劇場
▶10:30～12:30 ～1111ぼ編～ (進行役:すずきこーた)
▶15:30～17:30 ～1111ぼ編～ (進行役:すずきこーた)
劇場の入り口として設定している「デイ」では、その日、その時期ならではのテーマを設けることが良くあります。1月11日は「塩の日」。上杉謙信が敵将・武田信玄に塩を送った日です。そのため、『海の塩はなぜ辛い』を読み、物語に出てくる「臼から出てきて欲しいもの」をイメージして、みんなで壮大な物語をつくりました。

13日(水)
○
下馬地区アートプロジェクト『だれでも表現クラブ・極楽』
地域連携
14:00～16:00 新春、万華鏡作り (進行役:花崎攝、長峰麻貴)
万華鏡は、中にあるパーツは同じにも関わらず、揺らすことでさまざまな模様を浮かび上がらせます。そのような万華鏡の魅力に改めて触れることは、新型コロナによって制限される日々が発想の転換をもたらしてくれるのではないかと、1月は万華鏡づくりから始めることにしました。中に入れるパーツを選ぶ際、自分、家族、友達のパーツを決めて、入れて形をみている、ということからスタートしました。

14日(木)
○
演劇WSラボ
その他
18:00～22:00 ディスタンスクラブ

19日(火)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@玉堤小学校1年
地域連携
(進行役:富永圭一)

21日(木)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@玉堤小学校1年
地域連携
(進行役:富永圭一)

23日(土)
○
演劇WSラボ
その他
14:00～17:00 ディスタンスクラブ

24日(日)
○
演劇WSラボ
その他
14:00～17:00 「ディスタンスクラブ」成果発表会『シアターゲームおためし会』 (ディスタンスクラブ ラボメンバー)
レポート
裏面へ

26日(火)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@玉堤小学校1年
地域連携
(進行役:富永圭一)

27日(水)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@弦巻小学校2年生
地域連携
(進行役:すずきこーた)

27日(水)
○
下馬地区アートプロジェクト『だれでも表現クラブ・極楽』 番外編
地域連携
28日(木)
○
大～きな下馬の思い出地図をつくらう! (進行役:阿部健一)
レポート
裏面へ

28日(木)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@玉堤小学校1年
地域連携
(進行役:富永圭一)

○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@弦巻小学校2年
地域連携
(進行役:すずきこーた)

30日(土)
○
小学生のためのえんげきWS(1/8回目)
劇場
14:00～17:00 『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』(進行役:柏木陽、中村マミコ)
「地域の物語」子どもチームが始動しました。初回は、実方裕二さん(以下、ゆうじさん)と子どもたちとでシアターゲームをしたり、身体を一杯使って遊んだりしました。初めは緊張ぎみだった子どもたちですが、WSが進むにつれて笑顔があふれ、ゆうじさんともあつという間に仲良くなっていました。これから子どもたちは、3月21日の発表会にむけてWSを重ね、ゆうじさんからお話を聞いて演劇をつくっていく予定です。

緊急事態宣言が出て、開催を危ぶみましたが、社会福祉協議さんにどんな時でも行ける場を継続的に作ることが重要だと力強く言われ、いつも通りを大事に実施しました。「今朝、夫と喧嘩をし、頭に来ていたけど、万華鏡をつくりながらパーツにはハートを入れたいと思った」などの感想も出て日常をまた違う形で感じる時間になりました。

シアターゲームは、演劇WSでよく使う手法の1つです。子どもたちが楽しめるように遊びの要素を取り入れつつ、身体表現の幅を広げていきます。

だれでも表現クラブ 極楽

▲ゆうじさんと一緒にだるまさんがころんだ

2月

1日(月)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@烏山小学校
地域連携
(進行役:とみやまあゆみ)

3日(水)
○
下馬地区アートプロジェクト『だれでも表現クラブ・極楽』
地域連携
14:00～16:00 福を呼ぶ「江戸紋切り遊び」(進行役:花崎攝、長峰麻貴)
「紋」は魔除けや福を呼ぶと信じられ、江戸時代には身につけたり、飾ったりすることが行われていました。今回は、新型コロナの状況から自分を守るようなオリジナル紋を、お気に入りの形、色を決めながら作ってみることにしました。

4日(木)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@弦巻小学校2年
地域連携
(進行役:すずきこーた)

6日(土)
○
小学生のためのえんげきWS(2/8回目)
劇場
14:00～17:00 『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』(進行役:柏木陽、中村マミコ)
演劇WSラボ
その他
18:00～21:30 「絵本読み聞かせクラブ」

8日(月)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@烏山小学校1年
地域連携
(進行役:とみやまあゆみ)

10日(水)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@弦巻小学校2年
地域連携
(進行役:すずきこーた)

11日(木・祝)
○
演劇WSラボ
その他
18:30～21:30 「絵本読み聞かせクラブ」成果発表会 (絵本読み聞かせクラブ ラボメンバー)
レポート
裏面へ

○
小学生のためのえんげきWS(3/8回目)
劇場
13:00～17:00 『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』(進行役:柏木陽、中村マミコ)

12日(金)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@弦巻小学校2年
地域連携
(進行役:すずきこーた)

15日(月)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@烏山小学校1年
地域連携
(進行役:とみやまあゆみ)

16日(火)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@烏山小学校1年
地域連携
(進行役:とみやまあゆみ)

20日(土)
○
小学生のためのえんげきWS(4/8回目)
劇場
14:00～17:00 『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』(進行役:柏木陽、中村マミコ)

21日(日)
○
『世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部』①/②
劇場
▶10:30～12:00 バラバラの言葉から演劇をつくる (進行役:青山公美嘉)
▶14:30～16:00 架空の国の観光CMをつくる (進行役:青山公美嘉)
午前の回は、雑誌から切り抜いたバラバラの言葉をグループでひとつの言葉として並べ、それが題名となる映画のワンシーンをつくりました。午後の回は、グループでくじを引いて無作為に選んだ「伝統料理」「観光名所」「伝統芸能」のある架空の国の観光CMをつくりました。いずれの回も、中学生たちは脈絡のない組み合わせから豊かに発想を膨らませて、ひとつの演劇をつくり上げることを楽しみながら挑戦していました。

22日(月)
○
かなりゴキゲンなWS 巡回団@烏山小学校1年
地域連携
(進行役:とみやまあゆみ)

23日(火・祝)
○
小学生のためのえんげきWS(5/8回目)
劇場
13:00～17:00 『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』(進行役:柏木陽、中村マミコ)

24日(水)
○
下馬地区アートプロジェクト×地域の物語
地域連携
14:00～16:00 『生きること死ぬことをめぐる冒険 in 下馬』中間発表 (進行役:阿部健一、開発彩子、金川晋吾、花崎攝)

27日(土)
○
デイ・イン・ザ・シアター
劇場
▶10:30～12:30 理想の〇〇編 (進行役:富永圭一)
▶15:30～17:30 理想の〇〇編 (進行役:富永圭一)
今回のテーマは「理想の告白」。すぐに思い浮かぶのは、男女の告白ですが、子どもから大人までが集う「デイ」では、多様な告白が生まれるかもしれない、と企画しました。①いつ②どこで③誰が④どんな台詞で⑤告白したのか、紙に描き、それらをシャッフルして、即興チームで告白シーンを表現しました。登場人物は、人だけでなく、「魚」「ペンギン」「コロナ」なども現れ、多様な価値観が交差する様が見られました。

色とりどりの折り紙は人の心を華やかにする効果があるようです。部屋に入ってきて、折り紙を見ただけで参加者の皆さんが「わー!」と声をあげてすぐに自分の色を選び出されたことが印象的でした。「いま、本当に話す機会がないから、ここで参加者同士話せることが嬉しい」とコメントをいただきました。

ゆうじさんのお話で印象に残ったことのシーンづくりに挑戦しました。子どもたちが選んだのは「産まれたとき」「はじめてのケーキ販売」「介助者との生活」。どう表現すると人に伝わるか懸命に考え取り組んでいました。またこの工程を通じて子どもたちの中に様々な感情が生まれてきているようでした。

▲ゆうじさんがケーキを売っているシーン

▲海の中のバーでの告白

「下馬アートプロジェクト」
だれでも表現クラブ・極楽 番外編
『大～きな下馬の思い出地図をつくろう!』

1月27日(水) 13:00～17:00

1月28日(木) 10:00～16:00

(進行役：阿部健一)

「下馬アートプロジェクト」は、世田谷パブリックシアター、世田谷区社会福祉協議会、下馬あんしんすこやかセンターなど、世田谷区の地域社会に向き合う活動をしている団体が、それぞれの組織の特徴を活かして協力し、地域社会構築のためにアートを活用していこうとする取り組みです。まずは、入口となる居場所をつくろうと、2019年より、「だれでも表現クラブ・極楽(1回/月)」「だれでも写真クラブ(1回/月)」という2つのクラブを、下馬地区在住の方々に向けて設定し、多くの方にご参加いただいています。その番外編として、1月下旬に、地域住民の方たちの下馬の思い出地図づくりを行いました。

当日は、下馬団地の第一集会所に広げられた床面いっぱいの大きな地図を目の前に、集まった方たちでおしゃべりしながら、昔の下馬の様子やご自身の思い出などを書き込んでいきました。他の方の書き込みを読んだり、お話を聞くうちに、互いに記憶が様々な形で想起され、集まった方たちの記憶のカケラが有機的に結びついていきました。

緊急事態宣言の真ただち中の開催で、ご参加くださる方はいないのではないかと不安な気持ちで当日を迎えましたが、たくさんの方にご来場いただきました。下馬団地が兵舎の跡地で始まった時期からお住まいの方も多くおいでになり、今の団地の建物にかつての兵舎が重ね合わさるような感覚も覚えました。戦中、戦後の混沌とした社会を生き抜いてきた皆様のお話は尽きることがなく、下馬の白地図は、あっという間に人々の歴史で埋め尽くされました。ここで集められたお話は、2021年9月に改めて発表する予定です。



▲会場風景(古地図を展示し、白地図を床一面に広げました)



▲会の様子
(大きな地図の前でおしゃべりしながら思い出を地図に書き込みました)

SPTラボラトリー「演劇WSラボ／成果発表会」

SPTラボは、演劇と社会の関係について思考／実験する場として、様々な視点を持つ人が出会い、対話しながら、答えのない問いに対し、新たな価値やアイデアを生み出すヒントを探っていく世田谷パブリックシアターの人材育成事業です。2020年度は、「コロナ時代に改めてWSの有り様について考えるクラブ(通称ディスタンスクラブ)」と、「絵本読み聞かせクラブ」の2つの作業グループが立ち上がりました。

「ディスタンスクラブ」では、子どもたちがコロナ禍においても、人と関わり合いながらのびのびと楽しく過ごせる場をつくるためのシアターゲームの開発を目指し、学校でのクラスづくりや休み時間に、距離を保ったまま実施、活用できるシアターゲームを開発していきました。「絵本読み聞かせクラブ」では、朗読ではない、演劇ならではの絵本の読み方や、絵本から演劇をつくるWSプログラムができないかを検討していきました。最後に、年度のまとめとして、それぞれが成果発表会を行いました。

ディスタンスクラブ成果発表会 1月24日(日)14:00～17:00

ご来場いただいた方たちに、実際に開発したシアターゲームをご体験いただき、意見交換会を行いました。

絵本読み聞かせクラブ成果発表会 2月11日(木・祝)18:30～21:30

実際に研究してきた絵本の読み聞かせを発表し、特に小学校では朝礼前の15分に読み聞かせが行われることが多い現状を踏まえ、各人が15分という持ち時間の中で、それぞれが絵本の読み聞かせを行いました。教育関係者の方々の出席もあり、具体的なご提案などを頂きました。



▲ディスタンスクラブ成果発表会(「拍手で宝探しゲーム」体験場面)



▲絵本読み聞かせクラブ成果発表会(『おどります』(作：高島純)発表場面)

